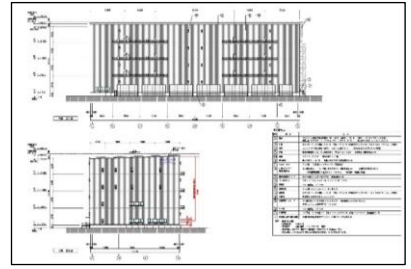


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原橋本台倉庫計画新築工事	階数	地上4F
建設地	相模原市緑区橋本台三丁目2008番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,480時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年3月25日
敷地面積	5868.76 m <sup>2</sup>	作成者	JFEビル(株)一級建築士事務所
建築面積	3049.05 m <sup>2</sup>	確認日	2019年3月28日
延床面積	11950.83 m <sup>2</sup>	確認者	JFEビル(株)一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 76%

③上記②以外のオンサイト手法: 76%

④上記+オフサイト手法: 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	相模原市内の工業地帯において、周辺環境との調和および地球環境へ配慮した建築計画を行う。	その他
<b>Q1 室内環境</b>	建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。高効率機器の使用により、建物運用時の消費エネルギー削減を達成する。	<b>Q2 サービス性能</b>
<b>LR1 エネルギー</b>	建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。高効率機器の使用により、建物運用時の消費エネルギー削減を達成する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水型器具を使用し、水資源の保護を図る。躯体から仕上げ材の分別を容易化し、解体時の資源再利用に配慮する。発泡剤を用いた断熱材を使用していない。鉱物繊維系の断熱材でロケット吹付を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b>
		燃焼機器を用いず、温暖化を抑制する。自転車置場(ﾊﾞｲｸ置場含む)、駐車場及び荷捌き用車両の駐車施設を確保し、敷地内の導入路部分に待機ｽﾍﾟｰｽを設けて周辺道路の渋滞緩和対策としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される